## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 (公 表)

		チェック項目	はい	どちら とも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			
体制	2	職員の配置数は適切であるか	8			
整備	3	職員の専門性は適切ですか	8			
	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		
業	(5)	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務	8			
務	<u>(6)</u>	改善につなげているか この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			ホームページ上で公開。
改		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか				第三者による外部評価は実施していない。
善善		職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2		月1回園内研修、動画研修、Zoom研修を実施。
		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイ				年1回面接にて保護者(子供)の要望を確認。課題整理
適切な支援の	9	サービス計画を作成しているか	8			し、計画作成している。
	10		6	2		パーソナルアセスメント、遠城寺式発達検査、大島分類
	(11)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			
		活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	6	2		個人の一日のスケジュールに合わせ支援。季節の行事や
	(12)	/ A動/ログノムを回走化しないよう工人しているが	0	۷		活動・制作なども取り組んでいる。
	13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	3		現在休日のみの利用。個人の利用に合わせて課題を決め、取組んでいる。
	(14)	子供の状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			基本、個別での活動で計画作成。集団としてはカラオ
		支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認して				ケ、誕生会などを実施。 利用前に事前に支援内容や担当を決め支援。季節の制作
提	15)	文法(開始制には報意間で必ず引う日がときし、での自刊がなる文法の内容で及割が生に プレーに能応しているか	8			活動などは声掛け指導にて実施。
供供	(16)	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等	8			支援(送迎)終了後申し送りノートを作成し、当日休み
-		を共有しているか				者にも情報共有。家族には夕方送り時に伝達。
		日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			サービス提供記録では詳細な記載を心掛けている。
		定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	<u>8</u> 4	1		半年に一回モニタリング。見直しの必要性を確認。
関	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画し		4		個人に合わせて基本活動を組み合わせている。
係	20	ているか	7			担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加。
関	(21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の	2	6		学校との情報共有は、担当者会議にて実施。
保		対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				母親を通じて医療ケアの同意書をもらい、主治医等と連
護者	22	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2		携体制を整えている。
ද ග	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互	4	4		担当者会議にて情報共有している。
連 #	<u> </u>	理解に努めているか 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ場で		2		
関	24)	の支援内容等の情報を提供する等しているか	6	2		要望があれば、提供したい。
機	25	児童発達支援センタや発達障碍者支援センタ等の専門機関と連携、助言や研修を受けているか	2	2	4	
関 や	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか		2		コロナ感染症対策により、交流出来ない状況。
保護	27)	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8			管理者が参加。 活動記録のコピーを家庭へ提供。専門職からのアドバイ
超 者 と の	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			石動記載のコピーを家庭へ提供。専门戦からのチャハイス等も伝えている。
		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい		7		7.40 II/C C V V V
携	29	るか		1	1	
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			
護	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		担当者会議や利用時に助言や支援を実施。
者	32)	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	3	コロナ感染症対策により、交流出来ない状況。
^	(33)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情	7	1		年1回苦情に関する勉強会あり。事業所内にも体制につ
等 の -		があった場合に迅速かつ適切に対応しているか 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信して				いて掲示あり。
説	34)	いるか	8			HPの定期更新、予定表の毎月配布を実施。
明	35)	個人情報に十分注意しているか	8			
責	36)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			事業所公式LINEにて、情報伝達出来ている。
任	37)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	_	コロナ感染症対策により、自粛中。
非	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい	8			緊急時対応マニュアルは、個人別に同意もらっている。
常常	(39)	るか 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	8			定期的にマニュアル見直しも実施。 年2回の防災訓練を実施。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			年二回の自己チェックを実施。研修会にて検証。
の の		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十		4		定期的に会議(委員会)を開催。必要に応じて保護者へ
対	<u>41</u> )	分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		の説明と同意をもらっている。
応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2		現在食物アレルギーの対象者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	1		